

## ○残念な松岡大臣の死

国会ではいつもとんでもない事が起こります。松岡農水大臣の死は、大きなショックです。事務所費の問題だけではなく検察の手が伸びていた緑資源機構の談合事件を始め、周辺の様々な疑惑の追究から逃れる手段は、辞任。一方で、それをやれば、安倍内閣崩壊への引き金になるだけに、官邸や国対は、大臣職の継続を強く指示していたという話もあります。死を選ぶより他に違った選択があったと思われるだけに、残念な事です。私達も気が沈みます。

安倍総理自ら任命責任を認めているように、元々こうした疑念のある人を大臣に起用した人事の「甘さ」が悔やまれます。

## ○あなたも確認を。「消えた年金」

国会も終盤をむかえています。ここに来て、「消えた年金」問題が最大の争点となってきました。安倍総理や自・公政権の動揺が国会の混乱に拍車をかけています。社会保険庁の解体論議をきっかけに、私たちが追究の手を強めた事で、問題の5000万件の全容が少しずつ分かってきました。これから年金を受け取る60歳以下の人たちで、2120万件の記録もれ。現在年金生活をしている60歳以上の受給者3000万人に対し、金額にして980億円、2880万件が記録もれだと分かりました。歴代の長官は、退職金の召し上げをすべきです。党首討論で安倍総理は、「60歳以上の分は一年以内に整理する」と約束しました。しかし、過去の領収書控えなど物的証拠以外で加入の事実を柔軟に認めていく具体的な基準は示されていない事から、実質的にはこれまで通り申請者は窓口ではねられてしまうこととなります。今回のように、時効の期限を撤廃しても、その効果は限られていて、ほとんどの人が救われない。30年前の領収書を示せと国民に責任を押し付けるのは間違い。まず、社会保険庁(国)に過ちがあったのです。申請があれば、具体的な証拠で、「あなたは、実際、保険料を払っていなかった。」と、社会保険庁が証明できない限り、逆に国が年金を保障する義務がある。「挙証責任」を国の側に認めることから出発すべきだと言うのが私達の主張です。その上で、第三者機関を作ってそれに裁定を委ねるのです。

参議院選挙を意識して、与野党ともにパフォーマンスだと言うマスコミのコメントが絶えず出てきます。これは間違いです。選挙があるから、政府与党も動いてくるのです。それがなければ、権力を持っている方は、私達が何を言っても事実を隠し通して国民は泣き寝入りになります。

## ○止むに止まれぬ乱闘騒ぎ、反省していません。

憲法の国民投票法、教育基本法、イラクへの自衛隊派遣法の期間延長に続いて、今回の社会保険庁や消えた年金の問題など、私たちは大事だと思うからもっと時間をかけて慎重に議論しようと言う。与党は、やればやるほど答弁にボロが出てきて、議論の打ち切りを強行しようとさせる。この国会ほど強行採決がまかり通った例はありません。

普通は、委員会の直前に開かれる理事会でその日の日程を合意した上で開会し、議事が進みます。しかし、強行採決は、抜き打ちです。委員会の途中、与党の議員が突然立ち上がって、委員長に即裁決するよう促す動議で宣戦布告されます。委員長が与党から出ていますから、裁決を阻止するためには実力行使しかない。私たちは、事前にこれを察知し、動議が出される間際には、国対に所属する若手議員を中心に現場に集結するよう指示を出します。野次と怒号の中、動議を合図に委員のメンバーは委員長席に詰め寄りマイクを取り上げ、委員長を席から遠ざけようと必死になります。この乱闘騒ぎがテレビや新聞で取り上げられることとなります。

## ○党员・サポーター ご協力ありがとうございます

本年度の党员・サポーター登録へのご協力、ありがとうございました。三重2区総支部として、党员105名(議員党员含む)、サポーター561名の登録となりました。党员・サポーターの募集の締め切りは毎年5月です。引き続き、皆様のあたたかいご支援・ご協力、よろしく願いいたします。